

少数台数のリコール届出の公表について（平成17年8月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成17年8月は下記のとおり3件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：ヒュンダイモータージャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月10日	外1249	車名：ヒュンダイ 型式：GH-JM20 通称名：JM	2	平成17年3月29日～ 平成17年5月20日
不具合の部位等	<p>駐車ブレーキのラチェット機構において、歯止めの加工に不適切なものがあるため、歯止めが滑りレバーを固定できないことがある。そのため、駐車ブレーキを繰り返し使用すると、最悪の場合、駐車ブレーキが効かなくなるおそれがある。</p>			

2. 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月11日 (公表済み)	1491	車名：小松 型式：G30A2 通称名：GD305A-3等	87	平成9年11月5日～ 平成14年1月15日
不具合の部位等	<p>動力伝達装置において、第二減速機（タンデムドライブ装置）のチェーンの強度が不足していることから、主制動装置を連続して操作すると、ブレーキライニングの温度が上昇し、制動トルクが増大するため、当該チェーンが伸びることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、チェーンが破損し、チェーンがスプロケットに絡んで後前輪がひきずりを起こすおそれがある、または、ブレーキの効きが悪くなるおそれがある。</p>			

3. 届出者：トライアンフジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
8月12日	外1250	車名：トライアンフ 型式：SMTTF690等 通称名：スプリントST等	76	平成16年12月4日～ 平成17年3月8日
不具合の部位等	<p>後輪用ブレーキホースの取り回しが不適切なため、走行中に当該ホースとドライブチェーンが接触することがある。そのため、そのまま使用を続けると、ホースが損傷してブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。 冷却装置において、バイパスホースの加工が不適切であるため、エンジン等の熱影響により二層構造のホースが剥離し、ホースが早期に劣化することがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ホースが損傷して冷却水が漏れ、最悪の場合、オーバーヒートを起こすおそれがある。</p>			

〔参考〕

平成17年8月のリコール届出総件数	内 訳		
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	11件	10件	1件
輸入車	4件	2件	2件
計	15件	12件	3件

対象台数の追加の届出については届出件数に含まれません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課  
リコール対策室 中村、久手  
電話 03-5253-8111(代表)(内線42352・42353)